

2023 年度 事業報告

〔 自：2023 年 4 月 1 日
至：2024 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

1. 一般的事項

(1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課のみであり、2023年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

(単位：人)

役員		職員	
理事長（非常勤）	1	事務局長（市派遣職員）	1
常務理事	0	総務課	3
理事（非常勤）	9	総務課（市派遣研修職員）	1
監事（非常勤）	2	総務課（非常勤職員）	2
		印紙証紙売りさばき所（非常勤職員）	4
計	12	計	9

(2) 評議員会

第1回評議員会（2023年6月21日）（つくばカピオ中会議室）

- (ア) 議案第1号 2022年度事業報告及び計算書類の承認について
- (イ) 議案第2号 理事・監事の選任について
- (ウ) 議案第3号 評議員の選任について

(3) 理事会

第1回理事会（2023年5月25日）（つくば市役所204会議室及びZOOM）

- (ア) 議案第1号 2022年度事業報告および計算書類の承認について
- (イ) 議案第2号 理事・監事の選任について
- (ウ) 議案第3号 評議員の選任について
- (エ) 議案第4号 評議員会招集について

第2回理事会（2023年10月4日）（つくば市役所会議室203及びZOOM）

- (ア) 議案第1号 2023年度第1回補正予算について
- (イ) 報告1 2023年度事業の進捗状況及び課題について
- (ウ) 報告2 2024年度事業計画の方針について
- (エ) 報告3 理事長による職務執行状況の報告について

臨時理事会（2024年2月1日）（決議の省略）

- (ア) 一般財団法人つくば市国際交流協会の事務所移転先及び移転時期の承認について

第3回理事会（2024年3月7日）（コリドイオ3F多文化共生ルーム及びZOOM）

- (ア) 議案第1号 2024年度事業計画書及び収支予算書について
- (イ) 議案第2号 借入金最高限度額について
- (ウ) 報告1 理事長による職務執行状況の報告について

2023年（令和5年）度事業計画の方針

2023年（令和5年）1月1日現在、つくば市には144か国12,090人（対前年度同月比2,122人の増）の外国人が居住し、国籍別では、中国籍者が最も多く、次いで、ベトナム、韓国、インド、フィリピンの順となっています。特に、ベトナム国籍者は当協会が一般財団法人化した2013年と比較して約12倍となっています。また、外国人の入国規制が緩和されたことから、昨年4月から2,138人の外国人居住者数が増加しており、今後も増加傾向にあります。

さらに、2020年（令和2年）初頭から始まった新型コロナウイルス感染拡大は、新たな変異株が生ずるなど、今も収まる気配はなく、当協会事業においても、一部で中止や延期など当初の計画どおりに実施できない状況が続いています。一方で、大人から子どもまで幅広い世代に対する日本語支援は、年々需要が増しており、大人日本語講座や子ども日本語勉強会においても、積極的にオンライン（Zoom等）を活用しながら事業を進めています。

このような中、当協会は、2013年（平成25年）2月に一般財団法人として設立され同年4月から業務を開始し、2023年（令和5年）は法人化後10周年を迎える節目の年となります。

また、2023年（令和5年）11月には、現在行われている、つくばセンタービルのリニューアル工事が完了し、新たな市民活動の拠点に当協会事務所も入居し、国際交流拠点としてスタートする予定です。この拠点では、幅広い世代の外国人および日本人市民が集い、交流、活躍できる場として、10周年記念事業も含め、事業を実施していきます。

このような状況に鑑み、2023年（令和5年）度は、引き続き、行政、教育関係及び関係団体等と連携し、より強い体制を整えるとともに、下記の3点を重点目標として取り組みを進めます。

【重点目標】

1. 収束が見えないコロナ禍における事業展開

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら、感染状況に応じて、対面、オンライン等で柔軟に事業を行えるように工夫します。

また、オンラインを活用することで自宅や職場などから、手軽に事業に参加することが可能な環境が整いつつあるため、積極的に取り入れていきます。

2. 協会法人化後 10 周年と新たな国際交流拠点における事業の推進

当協会は、2023 年（令和 5 年）一般財団法人化後 10 周年を迎える節目として、これまでの歩みを振り返るとともに、外国人および日本人市民が集い、交流、活躍できる場として、多文化共生を推進する国際交流の拠点がスタートします。

事業実施にあたっては、幅広い世代の市民にこの拠点に来場してもらえるよう、11 月以降、新規事業や既存事業の拡充などにより 10 周年記念事業を実施します。

(1) 世代を超えた外国人、日本人市民の交流、活躍の場（ボランティア）の提供

これまで協会事業は、場所の制限により、事業拡大が進まない状況でした。

今回リニューアルされるつくばセンタービル 3 階の講座室やその他共有スペース等を積極的に活用して、すべての市民がそこを訪れることで、交流やボランティアなどの活躍の場としていきます。

(2) ボランティアの育成と登録ボランティアの事業拡大の検討

協会事業は、多くのボランティアの支援により成り立っていることから、新たな拠点を活用しながらボランティアの育成を進めるとともに、活動メニューの充実を図ります。

3. 協会活動のPRの推進（協会活動を市民に知ってもらい、参加いただくために）

これまで、協会の活動について、市民に十分PRができていないという課題がありました。今回、新たな国際交流拠点が整備されることから、拠点の紹介や取組などをSNS や広報誌等を活用して、わかりやすい情報を発信していきます。

今後も、当協会が多様な人々と共に歩むための、外国人支援や市民交流のあり方等について、市や関係機関と連携しながら協議を進めます。

2. 2023年度 事業概要

年度別事業計画 比較表

国際交流事業

2023年度事業計画	2022年度事業計画
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	A 外国人生活支援事業（対象：外国人）
1 日本語（大人向け） （ア）日本語講座 （イ）日本語ボランティア講師入門講座	1 日本語（大人向け） （ア）日本語講座 （イ）日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学・進学支援 （ア）こども日本語指導者研修会 （イ）こども日本語勉強会（日本語学習相談） （ウ）15歳から18歳までのこども日本語勉強会（新規） （エ）小中学校就学・高校進学ガイダンス （オ）こども日本語支援プラットフォーム会議	2 こども日本語・就学進学支援 （ア）こども日本語指導者研修会 （イ）こども日本語勉強会（日本語学習相談） （ウ）小中学校就学・高校進学ガイダンス （エ）こども日本語支援プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア派遣	3 医療通訳ボランティア育成・派遣（拡充）
4 メディカル英会話講座	4 メディカル英会話講座
5 やさしい日本語で防災講座	5 やさしい日本語で防災講座（新規）
6 ウクライナ避難民支援事業	6 ウクライナ避難民支援事業（新規）
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）
1 つくばフェスティバル（名称変更）	1 フェスティバル（国際交流フェア）
2 文化交流 （ア）世界お茶のみ話 （イ）日本・外国文化体験	2 文化交流 （ア）世界お茶のみ話 （イ）日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流（再開）	3 姉妹友好都市交流（拡充）
4 やさしい実践英会話（名称変更）	4 おもてなし英会話
5 ボランティア募集・派遣 （ア）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 （イ）外国人生活サポート事業（新規） （ウ）ボランティア交流会	5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 ボランティア募集・派遣 （ア）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 ボランティア募集・派遣 （イ）ボランティア交流会（新規）
6 シティ・チャットカフェ	6 シティ・チャットカフェ
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）	C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）
1 ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・Link!発行）	1 ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査（座談会）
2 多文化共生推進事業（新規）	2 賛助会員募集
3 10年記念事業	3 10周年記念事業準備会（新規）
4 賛助会員募集	
旅券発給支援事業	
D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）	D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2023年（令和5年）度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1	日本語（大人向け） （ア）日本語講座 （イ）日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学・進学支援 （ア）こども日本語指導者研修会 （イ）こども日本語勉強会（日本語学習相談） （ウ）15歳から18歳までのこども日本語勉強会（新規） （エ）小中学校就学・高校進学ガイダンス （オ）こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア派遣
4	メディカル英会話講座
5	やさしい日本語で防災講座
6	ウクライナ避難民支援事業
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1	つくばフェスティバル（名称変更）
2	文化交流 （ア）世界お茶のみ話 （イ）日本・外国文化体験
3	姉妹友好都市交流（再開）
4	やさしい実践英会話（名称変更）
5	ボランティア募集・派遣 （ア）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 （イ）外国人生活サポート事業（新規） （ウ）ボランティア交流会
6	シティ・チャットカフェ
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）	
1	ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・Link!発行）
2	多文化共生推進事業（新規）
3	10年記念事業
4	賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

3. 事業詳細

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）

1 日本語講座（大人向け）

【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として実施した。当初、対面授業も計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大が改善しないことから、オンラインのみの開催となった。

また、ボランティア待遇改善として、オンライン講座においても謝礼を支払うこととした。

さらに、ボランティアの育成のため、日本語ボランティア入門講座及び現ボランティアのための勉強会を開催した。

教室運営は、日本語ボランティア講師（TIVONA の会）が担っている。

（ア）日本語講座

【実績】

- ①クラス数：全9クラス（日本語1～3・日本語の会・ウクライナ）
- ②期 間：前期（4月～7月、135回）、後期（10月～2月、135回）
- ③方 法：オンライン（Zoom）開催
- ④受講者数及び講師数：

	受講者	講師
前 期	113 名	28 名
後 期	161 名	26 名
合 計	274 名	54 名

- ⑤参加費：2,000 円

（イ）日本語ボランティア講師入門講座

【実績】

- ①期 日：2023年9月16日（土）～10月6日（金）
動画視聴（30分×4本）
10月7日（土）（対面）
- ②講 師：井上里鶴（りず）氏（茨城県日本語教育アドバイザー）
TIVONA の会
- ③対象者：ボランティアで外国人に日本語を教えてみたい人
- ④方 法：動画視聴と対面で開催
- ⑤会 場：つくば国際会議場
- ⑥参加者：38 名
- ⑦参加費：2,500 円

(ウ) 講師研修会

「語彙コントロールの大切さと、直接法での授業ほか」

【実績】

- ①期 日：2024年3月30日（土）
- ②講 師：坂本 舞 氏（インターカルト日本語学校講師）
- ③対象者：TIVONAの会会員
- ④方 法：オンライン（Zoom）開催
- ⑤参加者：15名
- ⑥参加費：無料

2 こども日本語・就学・進学支援

【概要】

外国につながるこども達の日本語指導及び就学・進学支援を行うため、こども日本語指導者の育成や小中学校への就学、高校への進学ガイダンスを行った。

また、つくば市内のこども達の日本語指導の課題や今後の支援のあり方などについて、関係団体と共有するなどした。

(ア) こども日本語指導者研修会

日本語指導が必要な児童生徒に対する指導者を育成するため、座学と実習を行った。2名の修了者がこども日本語勉強会で活動を開始した。

【実績】

- ①開催日：座学：2023年10月28日（土）、
11月11日（土）、19日（日）、25日（土）、
12月9日（土）（計5日間）
その他、見学及び実習を経て講師として活動開始を判断した。
- ②場 所：松代交流センター
- ③講 師：吉田麻子 氏
- ④参加者：13名（修了者10名）
- ⑤参加費：2,500円

(イ) こども日本語勉強会（日本語学習相談）

NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所との連携により、こども日本語勉強会を開催した。

【実績】

- ①開催日：（前期）2023年4月11日～2023年9月29日（火曜日、金曜日）
（後期）2023年10月10日～2024年3月15日（火曜日、金曜日）
- ②回 数：クラス 72回（うち1回は荒天により中止）、日本語力チェック及び保護者面談 12回

- ③対 象：つくば市内の公立学校に通う 5 年生以上高校生以下
- ④参加者：46 人（延べ 900 人、平均 12.7 人）（アフガニスタン、アンゴラ、インド、エジプト、ガーナ、ケニア、チュニジア、ナイジェリア、パキスタン、ベトナム、マレーシア、リベリア、中国、フランス）
- ⑤講 師：36 人（延べ 648 人 平均 9.1 人）
- ⑥内 容：日本語勉強会に参加する前に、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどものレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。
また、定期的にミーティングを実施し、こども達の状況や指導方法について講師間で共有した。
- ⑦参加費：無料（但し、保険料及びテキスト代は参加者負担）

（ウ） 15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会

学齢期（15 歳）を過ぎて来日したこどもは中学校や高校への編入が難しく、また進路を選択する場合においても日本語を習得していることは重要です。学校に通っていない 15 歳から 18 歳までのこども対象として、本人や家族の希望する進路に向けた日本語支援を目的として実施を検討したが、場所の確保ができず未実施であった。

（エ） 小中学校就学、高校進学ガイダンス

つくば市教育委員会との協働事業として、小中学校への就学、高校進学ガイダンス、日本語力チェック及び日本語学習のアドバイスを小中学校就学、進学ガイダンスを実施した。このガイダンスでは、5 か国語（日本語、英語、スペイン語、中国語、シンハラ語）で説明を行った。

【実績】

- ①開催日：2023 年 9 月 23 日（土）、10 月 14 日（土）
- ②場 所：つくば国際会議場
- ③内 容：小中学校就学ガイダンス、高校進学ガイダンス、日本語力チェック、日本語学習相談
- ④参加者：21 家庭 50 名、運営：14 名
内訳（重複参加あり）
小中学校ガイダンス：29 人
高校ガイダンス：21 人
日本語チェック：6 人
- ⑤対応言語：日本語、英語、スペイン語、中国語、シンハラ語
- ⑥参加費：無料

（オ） つくばこども日本語支援プラットフォーム

市内の小中学校において日本語学習が必要な児童生徒への支援方法について、日本語教育に携わる団体等が情報共有と情報交換を行い、具体的な活動に繋げていく機会を作ることを目的に実施を検討したが、参加者の調整ができず実施しなかった。

構成団体：筑波大学、筑波学院大学、風の会、つくば市教育局学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課、NPO センター commons（アドバイザー）、当協会（主催者）など

3 医療通訳ボランティア派遣

【概要】

外国人が医療機関を受診する際、母国語で安心して診察を受けられるように、「医療通訳ボランティア派遣協定」を締結した医療機関の依頼に基づいて、医療通訳ボランティアを派遣した。

【実績】

派遣件数：1件（英語1件）

新たな医療通訳ボランティア派遣制度の検討

- ①クリニック等に対する医療通訳ボランティアの派遣先の拡充や、外国語で受診できる病院の紹介をスムーズに実施する方法などについて検討を行った。
- ②市健康増進課との協働により、通訳ニーズのある1歳6ヶ月及び3歳児検診への医療通訳ボランティアの派遣について実施に向け協議を進めた。

4 メディカル英会話講座

【概要】

市内の医療従事者を対象に、外国人の病院受診で必要となる受付・支払いや保険の説明・次回の予約方法についてのメディカル英会話講座を行った。

講座は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom利用によるオンライン講座として実施した。

なお、当協会賛助会員及び医療通訳派遣協定締結病院の特典として、会員及び登録事業所等勤務者の受講料を免除した。

【実績】

- ①期 日：2023年11月3日（金・祝） 10:45～16:30
1科目当たり60分
- ②場 所：Zoom利用によるオンライン講座
- ③内 容：「薬の処方」・「内科」・「受付」・「産婦人科」の4科目
- ④参加者：延べ63名
- ⑤参加費：1科目1,000円

5 やさしい日本語で防災講座

【概要】

外国につながる方々を対象に、やさしい日本語を用いた消火器訓練、自動車のタイヤ交換用ジャッキを使っての人命救助、119番通報など、6つのミッションを体験しながら防災の知識を得ることを目的として開催した。開催に際しては、つくば中央消防署、つくば市社会福祉協議会にもご支援をいただいた。

【実績】

- ①事業名：にげろ！たすけろ！防災ゲーム！
- ②期 日：2023年12月2日（土）
- ③場 所：筑波大学グローバルビレッジ・コミュニティーステーション
- ④講 師：水谷浩子 氏（防災士）
- ⑤参加者：80名、スタッフ・ボランティア：22名（筑波学院大学院のオフキャンパスプログラムによる学生1名含む）
- ⑥主 催：にほんごでおしゃべり！プロジェクトチーム
- ⑦共 催：つくば市国際交流協会、つくばグローバルアカデミックサービス株式会社
- ⑧後 援：つくば市、つくば市教育委員会
- ⑨協 力：つくば市中央消防署、つくば市社会福祉協議会

6 ウクライナ避難民支援事業

【概要】

ウクライナから戦争のため、つくば市に避難民として来日した方を支援するため、次の事業を実施した。

【実績】

（ア） 民間団体からの義援募金の分配

民間団体等から市内に避難されているウクライナの方々を支援したいので、集めた募金等を直接その方たちにお渡ししたいとの要望があったことから、市と連携して当協会が該当者に募金を分配した。

第3回（1回から2回は2022年度に実施）

分配依頼団体名

つくば道花の会 様（1月10日付）（4月14日付）の2回分
Photo Communication 様（1月19日付）
世界音楽の旅つくば発 様（4月4日付）
つくば市ゴルフ協会 様（7月28日付）
合計金額 164,277円

分配基準日の2022年11月9日から2023年5月1日の間で、つくば市に居住者する18名の方に対し受取希望調査を行い、そのうち受取希

望した 14 名の方々に一人当たり 11,000 円を直接渡すとともに、生活状況のヒアリングを実施した。

第 4 回

分配依頼団体名

つくば道花の会 様 (12 月 13 日付)

金額 26,876 円

募金分配作業は、現在調整中

(イ) 日本語学習支援

日本語がわからない人のために、日本語講座を開催及び当協会の日本語講座を無料で受講 (4 月～2 月) の機会をオンライン (ZOOM) と対面で提供

※実績：全 30 回、日本語ボランティア 2 名

受講者：2 名

B 文化交流事業 (対象：日本人・外国人)

1 つくばフェスティバル事業

【概要】

外国文化の体験 (団体活動紹介、民芸品展示・販売、各国の料理販売) を通じて、異文化の理解や交流を目的として開催した。

【実績】

①期 日：2023 年 5 月 12 日 (土)、13 日 (日)

②会 場：つくばセンター広場、大清水公園

③来場者：12 日 15,000 人 13 日 75,000 人 計 90,000 人

④テント出展：17 団体

⑤出展者負担金：1 テントあたり、販売関係 22,000 円、販売無 16,000 円

⑥ステージ発表：11 団体 (下記一覧)

◇ステージ出演者一覧

	団体名	内 容
1	茨城朝鮮初中高級学校	民族舞踊(朝鮮)・民族楽器の演奏
2	筑波大学ベトナム留学生会	ベトナムの民族衣装を着て、ベトナムの伝統的で人気な曲
3	GULISTON	中央アジア、シルクロードの民族舞踊のパフォーマンス。ウズベキスタン・タジキスタンなど
4	カスカーダ	南米パラグアイ国アルパ (ハーブ)

5	Maria Jeanne and Sing! (The Ladies)	classic songs, jazz, soul, gospel, pop.
6	Parico Addiekakko	フィリピンの歌
7	Swit	いろいろな国の人のパフォーマンス (ダンス)
8	MD Sedai	ロシアスタイルバレエ、ジャズダンス、ヒップホップ
9	Indonesian Student Association in Ibaraki	インドネシア伝統パフォーマンス
10	日本つくば国際語学院	インド風ダンス
11	Dukachi	ウクライナの歌、チェロの演奏

2 文化交流

(ア) 「～一杯のお茶から世界が見える～ 世界お茶のみ話」(講演会)

【概要】

主に講演者の母国の紹介又は外国人の支援などを行う方々の活動を紹介し、国際理解の一助となることを目的として実施した。

【実績】

- ①開催日：毎月第3土曜日
- ②場 所：つくば市役所、つくば国際会議場、コリドイオ多文化共生ルーム
- ③講 師：31名
- ④参加費：無料
- ⑤聴講者：378名
- ⑥内 容：下記のとおり
- ⑦モロッコ地震被災地支援の募金活動：
講演会場で実施 19,481円を日本赤十字を通じて被災地に支援。

2024/4/25 時点

期日	国名	講師	参加者数	YouTube 閲覧回数
2023年 4月15日	第68回 タイ	キッティティーン・ タッパ	23名	89回
5月20日	第69回 インドネ シア	ルッシー・ノファ リダ・リドワン	33名	135回
6月17日	第70回 モンゴル	ラハグワジャワ・ ガンチメグ	32名	205回
7月15日	第71回 ベトナム	ダン・ティ・トゥ イ・ヴィ	55名	113回
8月19日	第72回 フランス	坪井 環希子	46名	90回

9月16日	第73回 モロッコ	ブシュラ・ラシュカル	32名	78回
10月21日	第74回 オーストラリア留学	宮内 侑希	21名	113回
11月18日	第75回 ブルガリア	西村 留美阿奈	31名	30回
12月16日	第76回 つくば・インターナショナル・スクール	TISの生徒の皆さん	17名	58回
2024年 1月27日	第77回 ナイジェリア	ヘンリー・イヘネトウ	24名	72回
2月17日	第78回 韓国	ジョン・ソヨン	31名	51回
3月16日	第79回 バングラデシュ	ザケア・スルタナ	33名	97回

※ YouTube 配信は継続的に行っている。

(イ) 日本・外国文化体験

○ インドネシア日本文化体験

【概要】

将来日本に留学を希望しているインドネシアの高校生がつくばを訪れ、日本文化の体験として着物着付けと茶道の体験を支援した。

【実績】

- ①期 日：2023年10月5日(木) 9:00~14:00
- ②場 所：つくば市さくら民家園
- ③講 師：虹の会（着付け）、一掬の会（茶道）14名
- ④参加者：インドネシア高校生 23名
- ⑤内 容：着物の着付けと茶道体験

○ ベトナム料理教室

【概要】

世界お茶飲み話などから繋がる文化体験として、食をとおして外国文化を知る機会の提供を目的として、料理教室を実施した。

【実績】

- ①期 日：2024年1月14日(日) 10:00~14:00
- ②場 所：並木交流センター調理室
- ③講 師：Ngo Huynh Thien 氏
- ④参加者：20名
- ⑤参加費：2,000円
- ⑥メニュー：コムタム、チャーゾー（揚げ春巻き）

3 姉妹・友好都市等交流事業

【概要】

市の友好都市である韓国大田広域市との日韓青少年交流事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送っていたが、今年度から再開した。

つくば市内在住の中学生 15 名が、大田広域市を訪問し、ホームステイや文化体験活動を通じて、現地中学生との交流を楽しんだ。

オリエンテーションにおいて、ヒッポファミリークラブの金田貴恵子氏をはじめ、KOREA文化交流協会の金榮姫氏、崔善花氏などにホームステイの心得や韓国語講座などについてお話いただいた。

【実績】

- ①期 日：2023年6月15日（木）：第1回オリエンテーション
7月6日（木）：第2回オリエンテーション
7月27日（木）～30日（日）：韓国大田広域市訪問
8月21日（月）：市長への報告会
8月24日（木）：日本側参加者による全体報告会
- ②訪問先：韓国大田広域市
- ③参加者：つくば市中学生 15 名、大田広域市中学生 15 名
- ④引率者：団長 布浦万代、職員 2 名
- ⑤参加費：航空券のみ個人負担

4 やさしい実践英会話

【概要】

つくば市に来た外国人と簡単な英語を使って交流できるようにするため、英会話講座を開催した。

開催にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom 利用によるオンライン講座として実施した。

なお、当協会賛助会員の特典として、受講料を免除した。

【実績】

- ①期 日：2023年12月2日（土）、12月9日（土） 全2回、各日1時間
- ②場 所：Zoom 利用によるオンライン講座
- ③参加者：10 名
- ④参加費：2,000 円

5 ボランティア募集・派遣

(ア) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介

【概要】

各種団体からの要請に基づき登録ボランティアに依頼・派遣し、国際交流や多文化共生の推進に寄与している。

【実績】

- ①通 訳：17件（世界お茶のみ話、日韓交流事業、学校面談、まつりつくば、料理教室）
- ②翻 訳：5件（つくば市ライフプランすこやか2023版、公立保育所入所のしおり、予防接種のお知らせ、3歳健診のお知らせ、つくスマ）
- ③ホームステイ：0件
- ④文化紹介：0件

（イ） 外国人生活サポート事業

【概要】

日常生活の各種手続き等で気軽に聞ける場を提供するため、外国人生活サポーター（日常生活の助言をくれる人）を育成し派遣することを目的とする。

○ 外国人生活サポーター研修会の実施

【実績】

- ①事業名：外国人生活サポーター研修会の実施
- ②期 日：2023年10月22日（金）、26日（火）
- ②場 所：国際会議場、市役所職員研修室
- ③参加者：37名
- ④参加費：無料
- ⑤サポーター登録者：13名（研修会修了者のみ）

・ 利用状況

- ①利用者登録：2名（12月開始）
- ②活動実績：2回
- ③利用料：無料

（ウ） ボランティア交流会

【概要】

協会に登録している各種ボランティアが交流することにより、他の活動を知るとともに、活動の機会を増加させることを目的とする。

【実績】

コリドイオの開所に合わせて実施する予定だったが、開所時期が年度末になったため、2024年度に実施することとした。

6 シティ・チャットカフェ

【概要】

筑波大学及び協会の共催事業として、対面にて実施した。毎回、筑波大学留学生4～5名がコーディネーターとして参加し、1班6～8名程度のグループに分かれ、英語でフリートーキングを行った。

【実績】

- ①開催回数：年9回（協会担当 1月～3月）
- ②場 所：筑波大学グローバルヴィレッジ・コミュニティステーション2階
- ③参加者：各回25～35名程度
- ④参加費：無料

開催日	参加者	スタッフ	合計
1月21日	32名	4名	36名
2月18日	26名	4名	30名
3月17日	34名	4名	38名

C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）

1 ニーズ調査・広報

(ア) ホームページ・facebook

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、可能な限りリアルタイムに情報を発信する。

【実績】

イベント案内、報告、後援団体の情報を随時掲載した。

(イ) Link! 発行

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、ニュースレターとして「Link!」を発行し、活動状況報告や直近のイベント予定などを掲載する。

【実績】

- ①発 行：Link! 第16号、第17号（2023年11月、2024年3月）発行。
- ②発行部数：1,000部
- ③配布先：賛助会員及び協会窓口にて配布したほか、つくば市中央図書館、

窓口センター、交流センターなど市内各公共施設に配布した。

(ウ) ニーズ調査

【概要】

2023年協会事業参加者にアンケート又は口頭で事業時に感想を聞くなどして今後事業に反映する。

【実績】

お茶のみ話など、各事業終了時に、アンケート又は口頭により感想を聞いた。

2 多文化共生推進事業

【概要】

外国人が必要とする日常生活に関連する様々な情報発信や、日本人との交流、地域参画を推進したい人やグループに場を提供することを目的に、コリドイオの開所時期に合わせ、令和6年2月1日から多文化共生コーディネーター3名を配置した。(各週1回配置)

【実績】

ウクライナ、韓国、トルクメニスタン各1名を雇用し、情報発信を開始した。

3 10周年記念事業

つくば市国際交流協会の法人化後10周年を記念して、次の2事業を実施した。

(ア) 協会設立10周年記念式典

【概要】

つくば市国際交流協会の法人化後10周年を記念し、これまでの歩みを振り返るとともに、多年にわたり支援いただいた方々に感謝の意を伝えるため、部門のこと該当者に感謝状を贈呈した。併せて、協会設立10周年記念誌を製作した。

【実績】

- ①期 日：2024年3月3日（日） 午後1時～午後2時
- ②場 所：コリドイオ内つくば市民センター大会議室
- ③式典概要
 - ・開会

- ・会長挨拶 つくば市国際交流協会 会長 五十嵐 立青
- ・来賓紹介 つくば市議会 議長 五頭 泰誠 様
独立行政法人国際協力機構 筑波センター所長 高橋 亮 様
株式会社茨城新聞社 土浦・つくば支社長 柴田 敦 様
つくば市教育委員会 教育長 森田 充 様
- ・来賓祝辞 つくば市議会 議長 五頭 泰誠 様
- ・役員等紹介
- ・感謝状贈呈
多年にわたり国際交流事業の推進にご尽力され方々20者
 - ・役員等の部 5名
 - ・ボランティアの部 個人3名、5団体
 - ・連携機関の部 2機関
 - ・支援企業の部 賛助会員企業5社
- ・理事長挨拶 つくば市国際交流協会 理事長 布浦 万代

(イ) 外国人による日本語スピーチ大会

【概要】

つくば在住の外国人が「つくばをもっと住みやすい街にするためのアイデアをあなたの経験をもとに話す」という内容でスピーチを行った。

【実績】

- ①全応募者数：18名
- ②第1次審査：2024年1月25日(木)
- ③本大会出場：10名
- ④本大会開催日：2024年3月3日(日) 午後2時～午後4時30分
- ⑤場所：コリドイオ内つくば市民センター大会議室
- ⑥審査員：・主審査員5人
・中学生高校生による特別審査員4名
・日本語ボランティアによる特別審査員3名
- ⑦アトラクション：つくば市立高崎中学校箏曲部、スリランカ舞踊
- ⑧運営ボランティア：TIVONAの会
- ⑨後援：つくば市、つくば市教育委員会、茨城県、公益財団法人茨城県国際交流協会、独立行政法人国際協力機構筑波国際センター、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス、株式会社茨城新聞社、日本放送協会水戸放送局
- ⑩観覧者：60名

⑪本大会の結果：

順位	氏名	出身地	タイトル
最優秀賞	シャ インホウ	台湾	より良い交通手段
優秀賞	クルヴィツカ ユリヤ	ウクライナ	コミュニケーションバリア を超えましょう
中学生高校生 が選ぶ特別賞	レー カイン ゴック	ベトナム	光があるところこそ、生き る価値のある場所である
日本語ポラン ティアが選ぶ 特別賞	グエン ゴク ラン チ	ベトナム	つくばをただ一時の滞在地 ではなくするために
敢闘賞	コルダエヴァ アリョーナ	ウクライナ	孤独感のないつくばを作る ために
敢闘賞	トクヤマ シュ クン	台湾	外国人たちにもっと快適な 暮らし
敢闘賞	ジキエヴァ オ グルナバット	トルクメニ スタン	つくば市をもっと流動的な 街にしよう
敢闘賞	チメッツエレン アマルゾル	モンゴル	つくば市民と筑波山を結ぶ 道
敢闘賞	リュウ カシン	中国	私の目に映る筑波
敢闘賞	マンドシル ジ ヤウハラン	モンゴル	つくばをもっと住みやすい 街にするためのアイディア
ユーモア賞	グエン ゴク ラン チ	ベトナム	つくばをただ一時の滞在地 ではなくするために

4 賛助会員募集

【概要】

協会の支援者及び自主財源を得ることで、安定した協会運営を維持する。

【実績】

個人会員：142口、 団体会員：4口、 法人会員：11口
会費合計：544,000円

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

【概要】

つくば市民の旅券申請手続きに必要な印紙・証紙、葉書、切手などの販売及び証明写真の撮影を行うことで、市民へのサービス提供と当協会の財源確保を図る。

【実績】

年度別、パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影件数の推移

(単位：件)

年 度	印紙・証紙セット販売数			写真撮影
	10年	5年	12歳未満	
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561
H27	4,738	2,500	1,212	3,838
H28	5,583	2,609	1,263	4,417
H29	5,672	2,788	1,350	3,252
H30	6,197	2,823	1,472	3,650
H31(2019)	5,945	2,767	1,381	3,323
R 2 (2020)	1,075	288	139	790
R 3 (2021)	916	254	189	727
R 4 2022)	3,839	1,172	728	2,574
R 5 2023)	6,471	2,750	1,383	4,357